



2019年10月31日

各 位

会社名 クボテック株式会社
 代表者名 取締役社長 久保 哲夫
 (コード番号 7709 東証第1部)
 問合せ先 管理部長 記虎 政史
 TEL (06)6443-1815

2020年3月期第2四半期業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2019年5月15日に公表いたしました2020年3月期第2四半期連結業績予想と、本日公表の同実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、2020年3月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1.2020年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想数値と実績との差異(2019年4月1日～2019年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 900	百万円 △ 195	百万円 △ 200	百万円 △ 210	円 銭 △ 15.25
今回実績(B)	1,243	77	71	69	5.08
増減額(B-A)	343	272	271	279	-
増減率(%)	38.2	-	-	-	-
(ご参考)前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	862	△ 246	△ 130	161	11.72

2.2020年3月期通期連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 2,600	百万円 30	百万円 20	百万円 10	円 銭 0.73
今回修正予想(B)	1,850	△ 210	△ 220	△ 230	△ 16.71
増減額(B-A)	△ 750	△ 240	△ 240	△ 240	-
増減率(%)	△ 28.8	-	-	-	-
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	1,637	△ 742	△ 632	102	7.44

3.差異及び修正の理由

(1)第2四半期業績予想との差異の理由

当第2四半期連結累計期間の業績は、国内向け画像処理外観検査装置の増収と経費削減効果などから上記のとおり増益となりました。

(2)通期連結業績予想の修正の理由

通期の連結業績予想につきましては、大手FPDメーカーの設備投資は低調で、主力の検査機システム事業は厳しい受注環境が続いております。当社グループは抜本的な構造改革が不可欠と判断し、同事業が中国など特定の市場や顧客の設備投資動向、受注に依存する現状から、高機能フィルムや次世代パネル検査装置などの品質や採算を重視した市場、製品を収益の柱とする事業への転換を進めております。また、創造エンジニアリング事業、オーディオ事業の収益拡大とエネルギー事業の開発加速化など事業構造の改革にも努力を重ねております。

以上を踏まえ、前期から業務効率の改善や固定費削減等の施策を実施してまいりましたが、上記事業再構築に向けた現段階では、検査機システム事業の売上が想定以上に減少し、上記の通り損益の予想額を修正いたしました。

(注)上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。

以上